

はぼまい 歯舞地区マリンビジョンニュース

Vol.55
2014.2



歯舞地区マリンビジョン協議会事務局では、地域協働の取り組みにより作られた『歯舞地区マリンビジョン計画(平成19年3月策定)』の行動計画について、個々の推進状況など、活動の様子について「歯舞地区マリンビジョンニュース」を発行して、地域の皆様方にお知らせしています。

発行・編集：歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

長崎市で歯舞の取り組みを紹介

歯舞漁協の伊藤康彦専務が2月13日(木)、長崎県長崎市で開催された「ながさきSUISAN・ウィンタースクール」(長崎県漁港漁場協会主催)で講演し、歯舞地域のマリンビジョンの取り組みを紹介しました。

同スクールには、長崎県下の漁協、団体、関連企業、行政など約百人が出席しました。

伊藤専務は講演の中で、歯舞水産物ブランド化推進協議会が推進する「一部会一品運動」により、「一本立ち歯舞さんま」や「塩水パック日の出うに」、「活めたらのふとっばら」など、現在商標登録は17品目にも及ぶことを説明。また、地元小学校を対象とした漁業体験学習や歯舞こんぶ祭りなどの催事、クルージング、女性部との植樹活動などを紹介しました。

伊藤専務は地域活性化について、「地域にないものを無理につくるより、地域にあるものを掘り起こしながら、その特性を活かそう」と歯舞地区マリンビジョンの基本理念を話し、参加した漁協関係者からは「参考にしたい」という声も上がりました。



防災・減災のための講演 「津波に強くなるために知ってほしいあれこれ」



2月1日(土)、「津波に強くなるために知ってほしいあれこれ」と題して、東北大学災害科学研究所災害リスク研究部門津波工学研究分野の今井健太郎助授による講演が行われました。

今井助授は、東日本大震災のあらゆる情報を収集し、防災・減災対策に活用することを目指すプロジェクトや、住民の安全と都市の景観を考えたまちづくりなど、世界最先端の災害対策研究を実施しています。

今回の講演を参考にして、地域住民が安心して生活できる防災・減災対策を講じていきたいと意識を高めるきっかけになりました。

マリンビジョン計画改訂に向け協議会を開催

● 歯舞地区マリンビジョン協議会が1月31日（金）、
● 歯舞漁協で開かれ、策定から6年が経過した「歯舞地
● 区マリンビジョン計画」の改訂に向けた意見交換が行わ
● れました。

● 北海道開発局が北海道の水産業や漁村の活性化を目
● 指して策定した「北海道マリンビジョン21」の計画改
● 訂を受け、当地域計画も見直すことになり、会合には漁
● 業者や漁協、行政関係者ら約40人が出席しました。

● 出席者からは、「災害に備えた訓練計画を盛り込むべ
● きだ」「漁協や量販店、流通が協力し、水産物PRのた
● めのアンテナショップを出してはど
● うか」「フェイスブック等を活用した
● 新たなPR活動を展開しては」といっ
● たさまざまな案が出され、活発な意見
● 交換となりました。

● この意見交換を基にマリンビジョ
● ン計画改訂版が作成され、今後の協議
● 会で内容が公表される予定です。



「第7回北海道一周浜の味産直市」に出展



札幌東急百貨店の地下一階特設催事場で開催された「第7回北海道一周浜の味産直市」に歯舞漁協が出展、2月16日（日）から19日（水）までの4日間販売を行いました。

今回販売したのは、「ホッケの開き」、「サンマみりん干し」、「生干しコマイ」、「こまいっ子醤油漬け」、「ヤナギダコのポイル」、「さんまそぼろ瓶詰」など魚介類7品目、「はばまい昆布しょうゆ」、「歯舞早煮昆布」など昆布製品12品目の合計19品目です。

この間、低気圧の影響で悪天候となり客足が少なかったにもかかわらず、500枚用意した「ホッケの開き」や、100枚用意した「サンマみりん干し」など、ほとんどの商品が完売する人気ぶりでした。

今年で7回目の出展となりますが、毎年継続することで、歯舞ブランドのファンが少しずつ増えていると実感できました。今後もリピーターとなってくれるお客様が増えるよう、PRに力を注いでいきます！

■ 編集・発行・お問い合わせ ■

■ 編集・発行

歯舞地区マリンビジョン協議会事務局

■ お問い合わせ

事務局 担当：根室市水産経済部水産港湾課水産振興担当

電話：0153-23-6111 FAX：0153-24-8692

